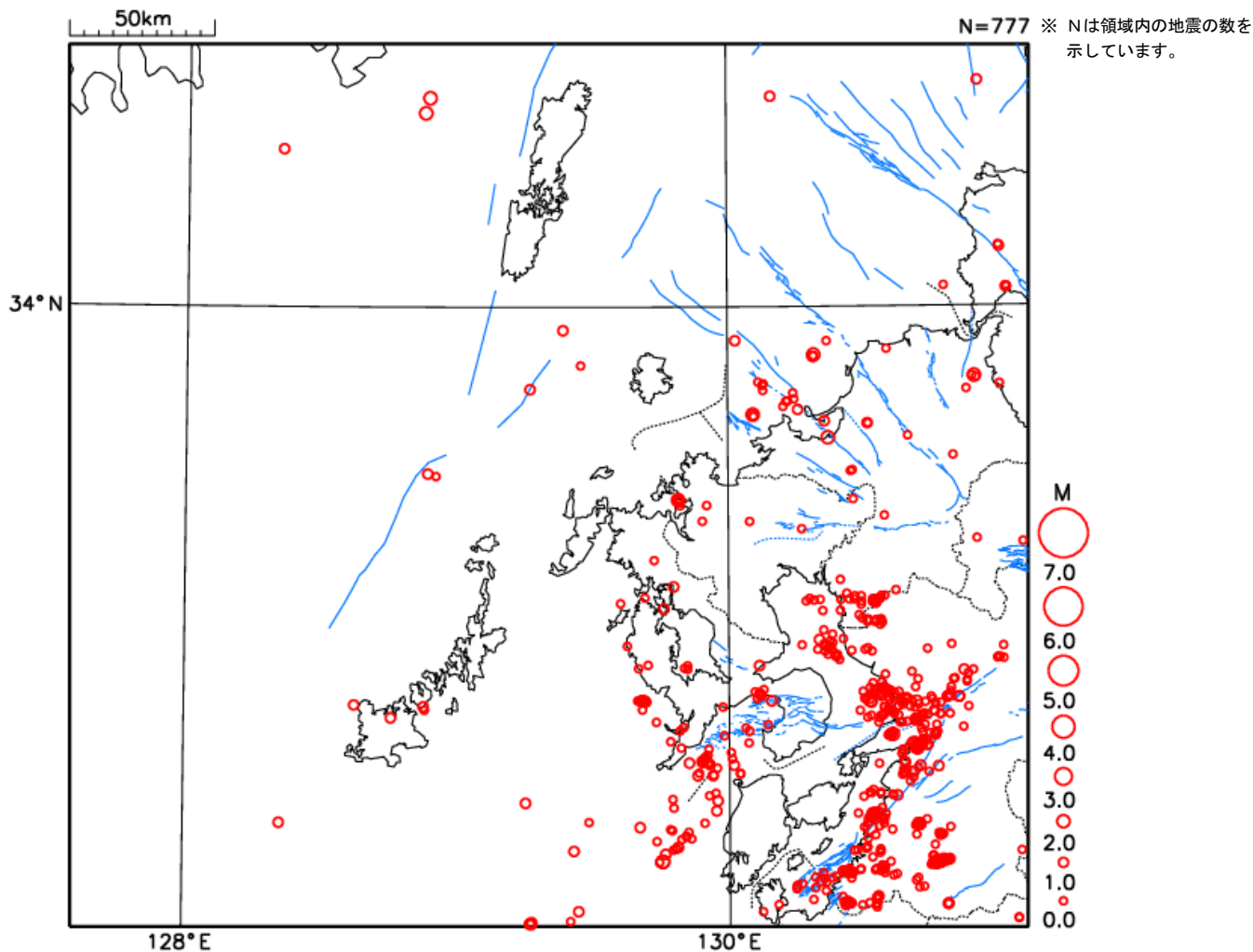


# 長崎県の地震活動概況 (2026年6月)

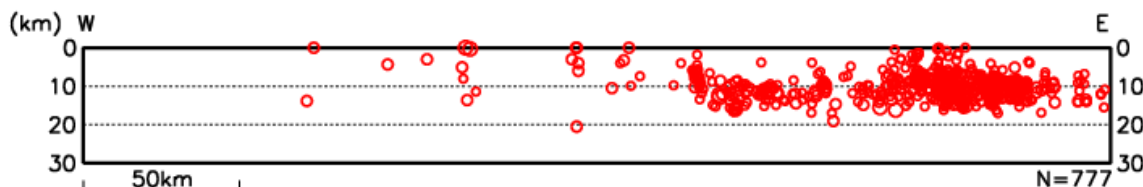
令和8年7月7日  
長崎地方気象台

## 地震活動の概況 (2026年6月)

6月に長崎県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした (5月は1回)。



震央分布図 (2026年6月1日~30日、深さ30km以浅、M $\geq$ 0.0)  
※図中の青色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。



断面図 (2026年6月1日~30日、深さ30km以浅、M $\geq$ 0.0)  
(震央分布図を南の方から見た断面図です)

※ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点 (よしが浦温泉、飯田小学校)、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点 (平島、小宝島)、EarthScope Consortiumの観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

## 津波から命を守るために

## ～ すぐ避難 ～

これから海のレジャーシーズンが始まります。魚釣り・海水浴・磯遊びなどで海辺に行くときは、津波避難場所や避難ビル、避難経路を確認しましょう。

海辺で地震による揺れを感じたときや、大津波警報・津波警報・津波注意報（以下「津波警報等」という）が発表されたときは、ただちに安全な場所に避難しましょう。

海辺で強い揺れを感じたら

海辺から離れ

長くゆっくりした揺れを感じたら

より高い

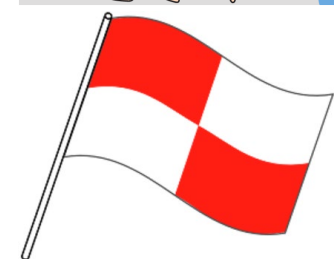
津波警報等を見聞きしたら

安全な場所へ!!

- 津波警報等解除までは気をつけて  
津波は繰り返し襲ってきます。津波到達後も津波警報等が解除されるまで気を緩めず、避難を続けてください。  
**津波警報が出ている間は、絶対に戻ってはいけません。**
- 津波注意報でも海中は危険  
津波注意報が出ているところでは、海水浴や磯釣りは危険です。ただちに海から上がって、海岸から離れてください。
- 正しい情報を入手  
テレビやラジオ、広報車、防災行政無線などを通じて正確な情報を入手しましょう。
- 津波フラッグは避難の合図  
赤と白の格子模様のこの旗は、津波警報等が発表されたことをお知らせする合図です。この旗を見たらすぐに避難しましょう。

※津波フラッグの詳細については、気象庁 HP をご覧ください。

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/tsunami\\_bosai/tsunami\\_bosai\\_p2.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html)



## ○津波に備えよう!

## ❖ 危険な場所を確認

自宅や学校、職場周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形から確認しておきましょう。海から離れていても、川に沿って津波が襲ってくることもあります。



津波注意

津波が来襲する**危険**のある地域を示します

## ❖ 避難場所を確認

津波避難場所や避難ビルがどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。避難場所は1ヶ所だけでなく、さらに高い場所にあるところも調べておきましょう。



津波避難ビル・津波避難場所

津波から**一時的に避難する場所**を示します

## ❖ 訓練に参加しよう

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。

